



こんにちは!

金井ひろしです。

区政・活動報告レポート

District Administration Report & Activity Report **No.3**

連絡先 〒152-0032 東京都目黒区平町 1-21-20-303

TEL 080-5195-2909

E-mail : kanai.hi64@gmail.com

Official Web Site URL : <https://kanai-hi64.com/>

ホームページ



facebook



ツイッター



誰もがともに学び、育ち、「共に生きる!」

Create a society where everyone can learn and grow together and realize "unity in diversity".

누구나 같이 배우고, 성장하고, 「같이 사는 세상!」

全员互助互学, 共同成长, 实现“共生向荣”

立憲民主党

保育と学童をセットで整備すべきだ!

「待機児童ゼロ」は見かけの数字合わせにすぎない

今年2020年、目黒区は保育園「待機児童ゼロ」になると発表しています。

数年前に目黒区の待機児童が1,000人を超え、多くのマスメディアで「目黒区ワースト・ワン」の報道がなされたあと、目黒区は大慌てで保育園の充実整備を加速し、ようやく「待機児童ゼロ」の発表ができたのです。

しかし、この「待機児童ゼロ」の計算方法に、乳幼児の保護者がパート労働者やフリーランスのケースがふくまれていないのです。あるいは「1歳児からだ保育園に入れないのではないかという不安」がついてまわっている現実があります。

「働き方改革」が叫ばれ、労働の多様化性を認め、育休や休業の制度が整いつつある時代に、この計算方式は、生活者の立場に立った統計ではないと思います。

また、「待機児童ゼロ」というのであれば、保育園とセットの学童保育クラブも「待機児童ゼロ」でなければ保護者たちは困るわけです。しかし、学童保育クラブは定員オーバーの状況が続いています。「詰め込み」や「2年3年で肩たたき退所」が横行しています。

これらの問題は保護者たちの切実な声を聞けば、たちどころに理解できる現実です。

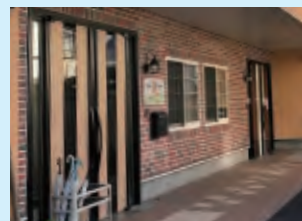
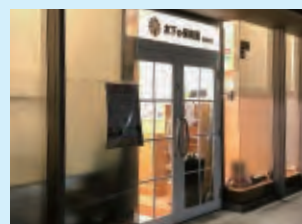
ところが目黒区は、あたかも待機児童問題を解決したかのような「待機児童ゼロ」の発表をしたのです。

この目黒区の「待機児童ゼロ」は、0歳から2歳までの乳幼児を保育する小規模認可保育園を付け焼き刃的に増加させたことによってはじき出した数字合わせの現実であり、本来推進されるべき認可保育園の充実整備は相変わらず遅れたままなのです。学童保育クラブの定員オーバー問題は置き去りにされていますから、現実には数字合わせにもなっていないのです。

「待機児童ゼロ」の発表があったから、これで子育てはもう安心とは、けして言えないと思います。

この子育ての大きな問題を解決するために、継続的に区議会でも取り上げていきたいと思っています。

ご意見ご相談などお待ちしております。どうぞご連絡ください。



目黒区議会報告 二度目の質問に立つ



顔と顔をあわせて聞いた区民のみなさんの声で区政をより良くしたい



議会二度目の質問は、一度目ほど緊張せず、ほんの少し余裕が出てきました。まだまだ質問に工夫が足りません。しっかりと考え努力して、前向きの議論ができる質問をしていきたいと思います。



毎週水曜日の朝は東横線・都立大学駅前で「辻立ち区政報告」をしています。ご意見などありましたらお声がけ下さい。写真は今年のクリスマス・シーズンで、左は同会派の区議・梅田まさみさん、真ん中は「かなえるカナイ後援会」のキャラクターです。体調がわるいときや時間のやりくりができないときは、申し訳ないですが休みます。



辻立ちの区政報告は区民のみなさんの声を直接に聞くことができる大切な機会です。この日は衆議院議員の手塚よしおさんと一緒に辻立ちしました。



年末は原水爆禁止目黒協議会の餅つき大会に参加しました。こうしたイベント参加も区民のみなさんの声をお聞きする大切な時間と場所になっています。

昨年11月25日の第4回定例議会で「特別支援教育・学童保育クラブの充実・アルファ化米に代表される災害用備蓄食料のフードロス」の3点を質問しました。

質疑応答の詳細は私のホームページで随時公開していますので、じっくりと読んでいただけますから、ここでは質問に立つ私の基本姿勢についてお伝えします。

この3つの質問をしたのは、それぞれ区民のみなさんからご相談やご質問をうけたことだからです。毎週の辻立ち区政報告や年4回のタウンミーティング、あるいは後援会の月例会などで、区民のみなさんと顔を合わせて区政について報告し、みなさんのご相談やご意見をお聞きしています。

保育と教育は私が若いときから取り組んできたメインテーマですし、昨年の大型台風災害以降は防災対策の多様化を考えなければならないので、質問したいことは山ほどあります。

そのなかで「いまこそ質問すべきだ」と選ぶ質問内容は、やはり区民のみなさんの声がそこにあるからです。

「特別な支援を必要とする児童にたいして支援員が少ない」「学童保育クラブが定員オーバーだ」「区が備蓄する食料のフードロスは税金の無駄遣いだ」という区民のみなさんの声を直接に聞いたからこそ質問したのです。

その質問に対する区長と区役所の回答は、実はとても丁寧です。ただし、それは現状をデータと資料で肯定的に説明するのみで、区の方針は間違っていないということを一方向的に強調します。区民の立場に立って区民生活の問題点をえぐり出そうとはしない。いままで通りの方針を、今まで通りにやると回答するばかりです。つまり区長と区役所は問題意識をもたないので、意見と意見を交換して、よりよい解決方法を生み出していく民主的で建設的な議論にならないのです。

区民のみなさんの一票で区議会へ送り出していただいて10か月がすぎ、二度の質問に立ちましたが、何とかして区長と区役所に問題意識をもってもらい、区民のための建設的な議論をしたいのですが、まだまだ私の努力と工夫は足りないと思っています。

今後も出来るかぎりチャンスをみつけて質問に立ちます。区民のみなさんの声でより良い区民生活が少しでも実現できるように、区議会で質問を続けたいと考えています。



多様性を誇りに。わかちあうことを力に。支え

Create a society where everyone can pride themselves on living in a diverse society, find

다양성을 자랑스러워. 서로 나눔을 힘으로. 서로 도와주는것으로 안심을

政治家にとって「選挙公約」とは何か



深く考えざるをえない16年前の「区長選挙広報」

今年は目黒区長選挙の年です。
そこで4期・16年間におよぶ区長の青木英二さんの政策を調べ直しました。そのとき信じがたい「2004年の区長選挙公報」を発見しました。
この2004年に青木さんは区民へ「5つの政策」と「5つの改革」を掲げて区長選挙に出馬し、初めて区長に選ばれたのですが、その「改革」の「1」と「2」に目が釘づけになりました。
ぜひ、読んでみてください。きわめて具体的な「選挙公約」の「改革」案です。
しかし16年かけて実現できていない。
政治家の公約とは何か、と考えざるをえませんでした。なぜ実現しなかったのかと思う一方で、実現できなかった訳があったのかと考えます。

私は自分自身が区議会議員選挙で公約したことを、もう一度見直しました。政治家は誰も

公約と主張を掲げ、より良い社会建設を目指して選挙に出馬します。現実の問題として、その公約が短期間では実現できないことはあるでしょう。しかし公約へ向かって前進する意志と行動力こそが、選挙で選ばれた政治家の責務だと考えます。

青木英二さんは今年の区長選挙に5度目の出馬を決意したとの情報が伝わってきました。5度目といえば、あきらかに多選だと思いませんか。いかがなものでしょう。

仲間たちと共に私は、区長の多選をやめて新しい区長を選ぼうと考えて行動しています。近いうちに私たちが支持するフレッシュな区長予定候補者を発表することができるでしょう。

今年の区長選挙は実に興味深い選挙になりました！

	1	3	5
4/19	2	4	6



非常時のクッキングを学ぶイベント「PIAZZA」をスタートしました！

—— 煮炊きを必要としない料理を学ぶ地域活動 ——

「区民のみなさんと語り合う新しいスタイルの地域活動をしたい」と、立憲民主党の3人の新人区議会議員（梅田まさみ・橋本しょうへい・金井ひろし）は考えました。

そして生まれたアイデアが「非常時」に役立つ「煮炊きを必要としない料理を学ぶ地域活動」でした。この活動のニックネームは「ピアツァ=PIAZZA」。イタリア語で『広場』です。

第1回のPIAZZAは1月19日（日）に緑ヶ丘文化会館で開催しました。17組の子育て世代の方々が子どもを連れて参加して下さいました。

防災士・日本災害食学会専門員の阿部進さんの指導で、ビニール袋を使った料理方法を学びました。試食をしたりして、楽しく学び、気軽に語り合うイベントになりました。

今後も各地域の区民のみなさんに呼び掛けてPIAZZAを開催していこうと思います。よろしく願い申し上げます。



合うことを安心に。 目黒区議会議員 金井ひろし

strength in compassion of others and ensure security by supporting one another.

我们以多样性为荣，合力前进，互为股肱，安心宜居。

立憲民主党

マイクロプラスチック問題の勉強会:「人工芝」が多い現実

昨年11月に「科学的根拠に基づく政策立案」勉強会に出席し、一番多いマイクロプラスチック・ゴミ(微小なプラスチック・ゴミ)が「人工芝」だと初めて知りました。地域差がありますが12%から27%を占めているそうです。人類全体の難しい問題ですが、それこそ人類の英知で解決しなければならない問題です。



大原則「子どもの命を守る保育」を再確認する研究集会

第31回東京保育団体合同研究集会に参加しました。私が出席した分科会は「民間事業者におけるバラバラな基準のために保育の質が下がっている」という問題提起をうけて解決策を考える研究集会でした。「子どもの命を守る保育」という基本中の基本を初心に戻って考えなおし、これなくして安心して暮らせる楽しい町づくりはできないと再確認しました。



地域団体「柿のたね」 「誰もがともに地域で学び暮らそう」

「柿のたね」は目黒区鷹番を中心とする自由参加のコミュニティー・クラブです。住民たちの家族ぐるみの親睦が「ともに学び暮らす」安全で楽しい地域をつくる土台になると考えています。夏と冬の旅行、バザーの開催など積極的な地域活動を35年間続けてきました。12月は夏の家族合同旅行の下見で横浜の観音崎へ行ってきました。ご参加を希望される方は金井までご連絡を下さい。



新年は移動支援の初詣 介護の現場から

私のもう一つの仕事は介護の現場です。1月4日は初詣の移動支援をしました。普段支援中に写真を撮ることはないので、町会の方が声をかけてくれたので記念撮影しました。ヘルパーがいないと自由に外出も出来ない…。そうではない世の中になってほしいと願いながら支援しております。



「めぐろ子どもの居場所フォーラム」に参加しました

1月18日に目黒区役所大会議室で開催された「プレーパークの設置」などをテーマにしたパネル・ディスカッションでした。基調講演は日本で最初にプレーパークを設置した天野秀昭さん。目黒区内で子どもにかかわる活動をしている団体のパネリストのなかには現役高校生もいて、当事者による現場からの意見を聞くことができました。



主催: NPO 法人めぐろ子ども支援ネットワーク
共催: 目黒区

教育の「ビジネス化」がもたらす教育格差を考える本

元区議会議員の宮本なおみさんから「ぜひ読んで考えてね」と手渡された本です。アメリカでビジネス化された公教育が、どのような教育格差をもたらしているかを詳しくレポートしています。日本でも文科省大臣がビジネス化による教育格差を容認する「身の丈」発言をして、謝罪撤回に追い込まれました。明日は我が身の教育格差問題を知ることができる本です。



『崩壊するアメリカの公教育-日本への警告』
鈴木大裕・著 / 岩波書店刊

金井ひろしのタウンミーティング

金井ひろしと後援会かなカナ会の新年茶話会「気になることを何でも話そう!」

どうぞお集まり下さい! 子育てのご相談、日々の生活のご相談、区役所へのご要望、政治へのご意見など、ご自由に発言して下さい。みんなで語り合い問題意識を共有しよう。

日時: 2月16日(日) 午後2時~午後4時まで

場所: 自由が丘住区センター(自由が丘駅徒歩4分/目黒区自由が丘1-4-12)

会費: 500円(学生無料・介助者付き添い参加は介助者無料)



学び考える集会 「植民地支配 徴用工とは? 日韓友好は歴史を学ぶことからはじめよう!」

日時: 2月23日(日) 午後1時30分~午後4時 参加費: 500円

講師: 宋世一(ソン・セイル 在日韓国民民主統一連合副議長) 山田朗(やまだ・あきら 明治大学教授)

場所: 目黒区民センター(中小企業センター第1・2会議室/目黒区目黒2-4-36/目黒駅徒歩10分)

主催: オールめぐろ(戦争はごめんだ、いのちと平和を守るオールめぐろの会) 電話: 03-3713-8599

